

平成28年10月入学

平成29年 4月入学

山口大学大学院連合獣医学研究科
博士課程

学 生 募 集 要 項

ADMISSION PROCEDURE FOR THE DOCTORAL COURSE OF
THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF
VETERINARY SCIENCE, YAMAGUCHI UNIVERSITY,
OCTOBER 2016 ENTRANCE AND APRIL 2017 ENTRANCE

構 成 大 学

鳥 取 大 学

山 口 大 学

鹿 児 島 大 学

COOPERATING UNIVERSITIES :

TOTTORI UNIVERSITY

YAMAGUCHI UNIVERSITY

KAGOSHIMA UNIVERSITY

山口大学大学院連合獣医学研究科

The United Graduate School of Veterinary Science,
Yamaguchi University

〒753-8515 山口市吉田1677-1

Yoshida 1677-1, Yamaguchi 753-8515

TEL (083) 933-5937 (直通)

FAX (083) 933-5938

<http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~renju/>

Admission Policy

1. 豊かな人間性と倫理性を備えた, 社会の多方面で活躍と貢献が出来る高級技術者または研究者として明確な目的意識とモチベーションを有する人。
2. 目的を達成するために向上心と強い意志を持ち続け, さらにチャレンジング精神や好奇心の旺盛な人。

入学者選抜の基本方針

教育理念・目標に合致した学生を選抜するために, 学力検査 (筆答試験および口述試験), 出願書類, 面接等に基づき, 志願者の能力や資質を総合的に評価して選抜します。また, 入学者の選抜は年2回実施し, 4月または10月入学を選択することができます。

- 1) Be highly motivated and have a clear sense of purpose to contribute to a variety of fields of society as a professional veterinarian or researcher with high humanity and morality.
- 2) Keep his/her ambition and strong will to accomplish objectives as well as a spirit of challenge and curiosity.

Basic Policy on Applicant Screening

To successfully comply with the Graduate School's educational principles and goals, applicants are screened with academic achievement tests (written and oral), submitted application documents, interviews, and other tests for assessment of their skills and qualifications. Applicant screening is conducted twice a year, and applicants can enroll in either April or October.

出願書類等については, この学生募集要項において, 必要なため提出していただくものであり, これによって得た個人情報を, 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律, 第9条第2項に規定されている場合を除き, 出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提出することはありません。

The application documents will not be submitted for any other reasons or to any other persons, unless in the case of an exception set by the Private Protection Law (the ninth article) of Yamaguchi University.

入学試験日程

○平成28年10月入学

事 項	日 程
入学試験出願資格申請	平成28年7月8日(金)～7月22日(金)
出 願 期 間	平成28年8月3日(水)～8月9日(火)
試 験 日	平成28年9月1日(木)
合 格 発 表	平成28年9月15日(木)
入 学 手 続	平成28年9月20日(火)～9月23日(金)

○平成29年4月入学(第1次募集)

事 項	日 程
入学試験出願資格申請	平成28年7月8日(金)～7月22日(金)
出 願 期 間	平成28年8月3日(水)～8月9日(火)
試 験 日	平成28年9月1日(木)
合 格 発 表	平成28年9月15日(木)
入 学 手 続	平成29年2月27日(月)～3月3日(金)

○平成29年4月入学(第2次募集)

事 項	日 程
入学試験出願資格申請	平成28年12月19日(月)～平成29年1月4日(水)
出 願 期 間	平成29年1月16日(月)～1月20日(金)
試 験 日	平成29年2月7日(火)
合 格 発 表	平成29年2月23日(木)
入 学 手 続	平成29年2月27日(月)～3月3日(金)

*第2次募集は、第1次募集の状況により実施しない場合があります。

*第2次募集実施の有無については、第1次募集合格発表後に本研究科ホームページ(<http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~renju/v04.html>)で公表する予定です。

Entrance Examination Schedule

○Admission in October 2016

Item	Schedule
Entrance examination eligibility application	July 8 (Fri.) to July 22 (Fri.), 2016
Examination application period	August 3 (Wed.) to August 9 (Tue.), 2016
Examination date	September 1 (Thu.), 2016
Announcement of results	September 15 (Thu.), 2016
Admission procedures	September 20 (Tue.) to September 23 (Fri.), 2016

○Admission in April 2017 (First round)

Item	Schedule
Entrance examination eligibility application	July 8 (Fri.) to July 22 (Fri.), 2016
Examination application period	August 3 (Wed.) to August 9 (Tue.), 2016
Examination date	September 1 (Thu.), 2016
Announcement of results	September 15 (Thu.), 2016
Admission procedures	February 27 (Mon.) to March 3 (Fri.), 2017

○Admission in April 2017 (Second round)

Item	Schedule
Entrance examination eligibility application	December 19 (Mon.), 2016 to January 4 (Wed.), 2017
Examination application period	January 16 (Mon.) to January 20 (Fri.), 2017
Examination date	February 7 (Tue.), 2017
Announcement of results	February 23 (Thu.), 2017
Admission procedures	February 27 (Mon.) to March 3 (Fri.), 2017

* The second round may not be conducted depending on the results of the first round.

* Whether the second round is conducted or not is planned to be announced on the graduate school website (<http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~renju/v04.html>) after the announcement of results for the first round.

1. 募集人員

専攻	募集人員	
	平成28年10月入学	平成29年4月入学
獣医学	若干名	12名

2. 出願資格

1) 連合獣医学研究科の博士課程に入学することのできる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学における修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者（平成29年4月入学については、平成29年3月までに卒業見込みの者も含む）
- (2) 大学における医学又は歯学を履修する課程を卒業した者（平成29年4月入学については、平成29年3月までに卒業見込みの者も含む）
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者（平成28年10月入学については平成28年9月、平成29年4月入学については平成29年3月までに修了見込みの者も含む）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者（平成28年10月入学については平成28年9月、平成29年4月入学については平成29年3月までに修了見込みの者も含む）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、連合獣医学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学における修業年限6年の獣医学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

2) 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者であって、連合獣医学研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものは、連合獣医学研究科の博士課程に入学することができる。

- (1) 大学における修業年限6年の獣医学を履修する課程に4年以上在学した者
- (2) 大学における医学又は歯学を履修する課程に4年以上在学した者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（あるいは、本大学院入学までに修了見込みの者）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（あるいは、本大学院入学までに修了見込みの者）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

注1. 文部科学大臣の指定した者とは、次のとおりです。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程を修了した者及び修士の学位を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を習得し、かつ必要な研究指導を受けた者で本研究科において大学の医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ④ 大学（医学、歯学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注2. 出願資格1)の(7)(8)(9)及び2)に該当する場合は、出願に先立ち、本要項の9による出願資格の認定を受けて下さい。

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成28年10月入学 平成29年4月入学(第1次)	平成28年8月3日(水)～8月9日(火)(必着)
平成29年4月入学(第2次)	平成29年1月16日(月)～1月20日(金)(必着)

出願書類等を直接提出する場合は、次のとおり受け付けます。

受付時間は、8時30分から17時15分まで

(2) 出願方法

出願書類等を郵送する場合は、必ず「書留速達」とし、封筒の表に「大学院連合獣医学研究科入学願書在中」と朱書して下さい。

(3) 出願書類提出先

〒753-8515

山口市吉田1677-1

山口大学大学院連合獣医学研究科

電話 083-933-5937

(4) 出願書類等

- ① 入学願書：本研究科所定の用紙
- ② 履歴書：本研究科所定の用紙
- ③ 卒業(見込)又は修了(見込)証明書：最終卒業学校の卒業(見込)証明書又は修了(見込)証明書
- ④ 成績証明書：出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。
- ⑤ 写真：2葉(出願前3ヶ月以内に撮影の上半身、脱帽、正面向き、縦4cm×横3cmのものを入学願書及び写真票の所定欄に貼付して下さい。)
- ⑥ 検定料：30,000円
 - ※ 日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は、免除する。
 - ※ 本学所定の用紙(払込取扱票等)に必要事項を記入の上、最寄りの郵便局で山口大学指定の口座へ払い込んだ後、郵便局から受け取った振替払込受付証明書を、志願票裏面に貼り付けて下さい。なお、納入された検定料は、(5)の検定料を返還請求できるものを除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑦ 卒業論文又は修士論文の概要(卒業見込者又は修了見込者は、研究経過報告書の概要をもって代えることができる。): 概要は、A4判の用紙を使用し、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,200語程度とし、本研究科所定の表紙を付けて下さい。
出願資格の(注)の2に基づく志願者については、出願資格認定申請の際に提出した「研究業績書」に代えることができます。
- ⑧ 志願理由書並びに研究計画書：本研究科において、どのような分野でどのような内容について研究しようとしているのかが分かるように記入して下さい。(本研究科所定の表紙を付ける。)
- ⑨ 受験承諾書：本研究科所定の用紙により、所属長又は代表者が作成したもの。
(官公庁、企業等に在職している者のみ)
- ⑩ 在留カード(写)：外国人の志願者は、在留カードの写し(両面)
- ⑪ 国費外国人留学生は日本政府奨学金留学生申請書の写し
- ⑫ あて名票：本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に必要事項を記入してください。

(注) 出願書類は、日本語で記載することを原則とします。

出願資格の認定の際に提出済の書類は再提出不要です。

(5) 検定料の返還について

イ. 次に該当した場合は納入済の検定料を返還します。

- ① 検定料を納入済であるが山口大学に出願しなかった場合。
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合。
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合。

ロ. 返還請求の方法

上記①～②に該当した場合は、本学へ連絡して下さい。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、次の連絡先へ郵送して下さい。

なお、上記③の場合は出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、次の連絡先へ郵送して下さい。

(連絡先) 〒753-8511

山口市吉田1677-1

山口大学財務部経理課

電話 083-933-5098

4. 選 抜 の 方 法

入学者の選抜は、学力検査及び出願書類等を総合して行います。

ただし、外国人留学生にあつては、出願書類審査のみに基づく選抜(渡日前特別選抜)を行う場合もあります。

(下記(2)参照)

(1) 学力検査

① 筆答試験

外国語科目：英語

注1 英和辞典及びステッドマン医学大辞典を本研究科で用意します。

注2 外国人留学生にあつては、日本語または英語による小論文とします。

② 口述試験

最近の研究内容(卒業論文、修士論文、研究業績、症例発表等)及び今後の研究計画を中心に発表10分、質疑応答を20分程度行います。

(発表は各自パソコンを持参し、液晶プロジェクターを使用します。)

(2) 渡日前特別選抜 (外国人留学生)

試験日に来日できない外国人留学生を対象とし、出願書類で総合的に審査・判定します。

注1 この試験方法を希望する場合、希望主指導教員と事前に十分に連絡・相談し、確認を得て下さい。

注2 出願書類の他に、責任ある人物2人からの推薦状及び希望主指導教員の推薦状を提出して下さい。

(出身大学等の指導教員、企業の上司等)

5. 学力検査の日時及び場所

平成28年10月入学 平成29年4月入学(第1次)	平成28年9月1日(木)
平成29年4月入学(第2次)	平成29年2月7日(火)

科目	時間	場所
外国語	10時～12時	* 山口大学 連合獣医学研究棟
口述試験	13時30分～	

*詳細な場所は受験票送付時に連絡します。

6. 合格発表

平成28年10月入学 平成29年4月入学(第1次)	平成28年9月15日(木)	午前10時
平成29年4月入学(第2次)	平成29年2月23日(木)	

構成大学の農学部または共同獣医学部に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。
なお、電話等による合・否の問い合わせには応じません。

7. 入学手続

(1) 入学手続期間

平成28年10月入学	平成28年9月20日(火)～9月23日(金)(必着)
平成29年4月入学	平成29年2月27日(月)～3月3日(金)(必着)

受付時間は、8時30分から17時15分まで

(2) 提出書類等

必要書類及び手続の方法等については、合格通知の際に、本人に通知します。

(3) 入学時に要する経費

- ① 入学料 282,000円(予定額)
- ② 授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)

(注) 授業料の納付については、希望より前期分の納付の際に後期分も合わせて納付できます。
また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用するので注意して下さい。
なお、入学手続終了後に、改訂を決定(本募集要項公表後の額となります。)した場合は、改訂額との差額を納入していただくこととなります。

8. 注意事項

- (1) 出願に当たっては、希望する教育研究分野の主旨導教員と事前に十分相談して下さい。
- (2) 受験者は、学力検査当日、受験票を必ず持参して下さい。
- (3) 提出した出願書類の記載事項の変更は認めません。
- (4) 官公庁、企業等に在職のまま入学をしようとする者は、入学手続の際に、事業所の長又は代表者の入学承諾書を必要とするのであらかじめ承知しておいて下さい。
- (5) 出願に関して問い合わせをする場合は、本要項の3の(3)に照会して下さい。なお郵便で照会する場合は、郵便番号、住所、宛名を明記し、郵便切手を貼った返信用封筒を同封して下さい。

9. 出願資格の認定について

出願資格1)の(7)(8)(9)及び2)に該当する者の認定審査は、経歴調査、業績調査及び口頭試問により行います。ただし、経歴調査及び業績調査の結果、大学の獣医学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同以上の学力を有する者であると認めた場合は、口頭試問は行いません。

(1) 提出書類

- ① 入学試験出願資格認定申請書：本研究科所定の用紙
- ② 履 歴 書：本研究科所定の用紙
- ③ 研究歴証明書：本研究科所定の用紙（出願資格注1.④に該当する場合）
- ④ 研究業績書：研究経過及び研究業績の概要をA4判用紙を使用し、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,200語程度で記載し、本研究科所定の表紙を付けて下さい。
- ⑤ 研究成果資料：出願資格(9)に該当する場合は論文等を提出して下さい。
- ⑥ 成績証明書：出願資格(7)(8)に該当する場合

(2) 提出期限

平成28年10月入学 平成29年4月入学(第1次)	平成28年7月8日(金)～7月22日(金)(必着)
平成29年4月入学(第2次)	平成28年12月19日(月)～平成29年1月4日(水)(必着)

(3) 提出先

〒753-8515
山口市吉田1677-1
山口大学大学院連合獣医学研究科
電話 083-933-5937

(4) 口頭試問を行う者については、その日時を別途通知します。

(5) 認定審査結果の通知

審査の結果は、次の期日までに本人宛に通知します。

平成28年10月入学 平成29年4月入学(第1次)	平成28年8月3日(水)
平成29年4月入学(第2次)	平成29年1月16日(月)

山口大学大学院連合獣医学研究科（博士課程）の概要

1. 設置の趣旨

本研究科は、山口大学共同獣医学部獣医学科、鳥取大学農学部共同獣医学科及び鹿児島大学共同獣医学部獣医学科の教員組織並びに研究設備及び施設を連合して、標準修業年限4年の大学院博士課程の教育研究体制を作り、獣医学に関する高度の専門的能力と豊かな学識を備え、かつ、柔軟な思考力と広い視野を持って、社会の多様な方面で活躍できる高級技術者及び独創的な研究をなし得る研究者を養成し、学術の進歩並びに社会の発展に寄与しようとするものである。また、近年急増しつつある外国人留学生、特に発展途上国からの留学希望者を積極的に受け入れるものである。

2. ディプロマ・ポリシー

本研究科では獣医学に関する高度の専門的能力と豊かな一般学識を備え、かつ柔軟な思考力、広い視野、そして目的を達成するための強い意思を有する人材を養成することを目的としており、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、本研究科の人材養成目的に適う、以下の知識・能力を身につけた上で、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に「博士」の学位を授与します。

1. 獣医学（動物）に関する最先端の科学技術の習得、およびそれらへの対応能力。
2. 生命の科学的理解と論理的思考に基づき、高度専門家あるいは研究者として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決出来得る能力。
3. 獣医学・医療分野で研究の国際化に対応出来得る、実践的な英語およびコミュニケーション能力。
4. 社会で活躍できるリーダーとしての能力。

3. 教学上の特色

1. 学生は、構成大学に所属する教員のうちから主指導教員についての希望を申し出て、研究科がこれを調整し、決定する。
2. 学生は、主指導教員の所属する大学に配置され、主指導教員のもとで研究指導を受ける。
なお、他の構成大学の施設・設備も利用することができる。
3. 本研究科では、学生1人につき、主指導教員1人、副指導教員2人(うち1人は主指導教員と異なる大学の教員)の計3人が指導に当たる。

4. カリキュラム・ポリシー

本研究科では獣医学に関する高度の専門的能力と豊かな一般学識を備え、かつ柔軟な思考力、広い視野、そして目的を達成するための強い意思を有する人材を養成するため以下の方針に沿って、教育課程を編成します。

1. 本研究科のカリキュラムは、基礎獣医学、病態・予防獣医学、臨床獣医学分野から構成され、各分野で講義、演習、実験科目を開講している。主指導教員が指導する研究分野の講義、演習、実験科目を必修科目とし、高度専門家あるいは研究者としての基盤となる知識とスキルを習得する。
2. 知識の幅を広げることを目的として、主指導教員以外の教員が開講する講義を選択科目として履修させることにより、各分野の専門知識も学ばせる。
3. 高度専門家あるいは研究者として共通に持つべき素養を体得させることを目的として、一堂に会して行うゼミナールへの参加を必修単位としている。

5. 連合講座の内容

専攻	連合講座	概要
獣医学	基礎獣医学	脊椎動物の形態と機能を研究する分野であり、病態・予防獣医学や臨床獣医学の基礎となるばかりでなく、広くライフサイエンスの一翼を担っている。この分野で用いられている方法論は多岐にわたるが、電子顕微鏡などを用いて生物の形態学を追求する分野、電気生理学的手法、生化学的手法あるいは薬理学的手法を用いて生物の機能を追求する分野に大別され、それぞれの分野で高度な教育と研究を行う。
	病態・予防獣医学	微生物学、免疫学、病理学、生化学等を専門とする指導教員が参加する。これらの教員が、現在獣医学領域で問題となっている感染症、免疫病、腫瘍、代謝疾患の基礎的研究並びにその予防、治療法を分子生物学、細胞生物学、遺伝子操作等の最新の研究方法を駆使して解明し、それらの根絶を目指す。これらの成果は公衆衛生分野、家畜衛生分野へ応用され、人の健康保持、生産性の向上などが目指される。このための高度な教育と研究を行う。
	臨床獣医学	臨床獣医学の目的は、人間に関わりのある種々の動物(産業動物、伴侶動物、水生動物、実験動物、動物園動物等)の健康を管理することにより人間社会へ貢献することである。このために臨床免疫学、臨床病理学、放射線学、麻酔学、分子生物学、神経生理学などの理論と技術を駆使して、高度の診断技術と的確な治療法を確立するとともに、病因の究明を行い、その予防法を開発する研究を行う。

6. 修了要件

標準修業年限の4年以上（優れた研究業績をあげたと認められた場合は3年以上）在学し、30単位以上（特別講義・特別演習及び特別実験20単位以上、共通ゼミナール9単位、特別ゼミナール1単位）修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することを必要とする。

7. 学位

本研究科の課程を修了した者には山口大学から博士（獣医学）の学位を授与する。

主 指 導 教 員 の 教 育 研 究 分 野 一 覧

連合 講座	主指導教員氏名 (所属大学)	専門科目	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
基 礎 獣 医 学	保 坂 善 真 (鳥取大学)	基礎獣医学Ⅰ	糖鎖生物学	幹細胞の分化過程でのプロテオグリカンの役割と機能に関する研究
	木 曾 康 郎 (山口大学)	基礎獣医学Ⅰ	細胞組織化学	母子境界領域における免疫応答に関する機能形態学的研究
	日 下 部 健 (山口大学)	基礎獣医学Ⅰ	機能解剖学	胎盤における比較形態学と細胞機能学的研究
	加 納 聖 (山口大学)	基礎獣医学Ⅰ	発生遺伝学	哺乳動物におけるボディサイズ制御決定機構メカニズムの解析
	松 元 光 春 (鹿児島大学)	基礎獣医学Ⅰ	比較解剖学	乳腺の分化増殖と血管新生に関する機能形態学的研究
	竹 内 崇 師 (鳥取大学)	基礎獣医学Ⅰ	粘膜免疫学	粘膜における免疫応答に関する研究
	木 村 透 (山口大学)	基礎獣医学Ⅰ	実験動物医学	実験動物の皮膚科学・形成外科学領域の研究および伴侶動物の病態研究
	澁 谷 泉 (鳥取大学)	基礎獣医学Ⅱ	細胞生理学	神経細胞、神経内分泌細胞、内分泌細胞の機能調節機構に関する研究
	和 田 直 己 (山口大学)	基礎獣医学Ⅱ	神経生理学	陸上脊椎動物の歩行運動における姿勢—運動制御と中枢神経系に対する歩行運動の影響に関する研究
	川 崎 安 亮 (鹿児島大学)	基礎獣医学Ⅱ	感覚生理学	哺乳動物の聴覚および視覚に関する電気生理学・行動生理学的研究
	北 村 直 樹 (鳥取大学)	基礎獣医学Ⅱ	細胞生理学	哺乳類および鳥類ニューロンの興奮性制御に関する研究

連 合 講 座	主指導教員氏名 (所属大学)	専門科目	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
基 礎 獣 医 学	太 田 利 男 (鳥取大学)	基礎獣医学Ⅲ	分子薬理学	侵害受容と知覚機構の分子細胞機能に関する薬理学的研究
	佐 藤 晃 一 (山口大学)	基礎獣医学Ⅲ	分子細胞薬理学	炎症性疾患の発症における平滑筋細胞・免疫系細胞・筋線維芽細胞のクロストーク
	宮 本 篤 (鹿児島大学)	基礎獣医学Ⅲ	比較薬理学	内因性血管作動物質および天然物質の脳循環器系へ及ぼす影響
	山 野 好 章 (鳥取大学)	基礎獣医学Ⅲ	獣医生化学	内分泌攪乱物質が哺乳類の精子形成機構に与える影響
	山 本 芳 実 (山口大学)	基礎獣医学Ⅲ	細胞生化学	細胞内タンパク質分解過程に関して、細胞生化学的および分子生物学的な面からの研究
	藤 田 秋 一 (鹿児島大学)	基礎獣医学Ⅲ	分子細胞生物学	超微細構造レベルでの分子局在解析を用いた細胞生物学的研究
	叶 内 宏 明 (鹿児島大学)	基礎獣医学Ⅲ	分子病態学	アミノ酸代謝異常から生じる疾病に関する研究
	浅 野 淳 (鹿児島大学)	基礎獣医学Ⅲ	実験動物学	雄性生殖細胞の遺伝子発現調節機構に関する研究
	有 村 卓 朗 (鹿児島大学)	基礎獣医学Ⅲ	ゲノム医科学	難治性循環器疾患（特発性心筋症や不整脈）の病因や病態メカニズムに関する研究

連合講座	主指導教員氏名 (所属大学)	専門科目	教育研究分野	
			名称	内容
病態・予防 獣医学	前田 健 (山口大学)	病態・予防 獣医学 I	感染症学	獣医感染症の病態解析とその制御に関する研究
	西垣 一男 (山口大学)	病態・予防 獣医学 I	感染免疫学	ウイルス性疾患の分子メカニズムに関する研究
	村瀬 敏之 (鳥取大学)	病態・予防 獣医学 I	動物微生物学	細菌に関する生態、遺伝及び病原学的研究
	高瀬 公三 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学 I	獣医伝染病学	家畜・家禽、野生動物が保有するウイルス、細菌の病原学的意義、およびその免疫に関する研究
	中馬 猛久 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学 I	衛生微生物学	獣医公衆衛生に関わる病原体の予防と制御に関する研究
	田仲 哲也 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学 I	分子免疫学	マダニの生物活性分子の特性と免疫学的機能解析
	(連携大学院) 山川 睦 (農業・食品産業技術総合研究機構)	病態・予防 獣医学 I	獣医ウイルス学	家畜ウイルス病の疫学・診断および防除技術に関する研究
	奥 祐三郎 (鳥取大学)	病態・予防 獣医学 I	獣医寄生虫学	人獣共通寄生虫病の予防と制御に関する研究
	小原 恭子 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学 I	分子ウイルス学	ウイルスの病原性を分子レベルで解明し、制御を目指す研究
	(連携大学院) 山中 隆史 (日本中央競馬会)	病態・予防 獣医学 I	感染症学	馬感染症の病態解析とその制御に関する研究
松 鶴 彩 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学 I	感染症学	動物のウイルス感染症に関する研究	

連合 講座	主指導教員氏名 (所属大学)	専門科目	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
病 態 ・ 予 防 獣 医 学	小 澤 真 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学Ⅰ	ウイルス学	インフルエンザおよび他のウイルス感染症に関する基礎ならびに応用研究
	(連携大学院) 丹 羽 秀 和 (日本中央競馬会)	病態・予防 獣医学Ⅰ	感染症学	馬の細菌および真菌感染症の予防、診断および治療に関する研究
	松 尾 智 英 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学Ⅰ	寄生虫病学	消化管寄生性原虫類に関する研究
	森 田 剛 仁 (鳥取大学)	病態・予防 獣医学Ⅱ	獣医神経 病理学	動物の様々な神経疾患に関する病理学的研究
	森 本 将 弘 (山口大学)	病態・予防 獣医学Ⅱ	実験病理学	種々のモデル動物を用いた病態発生についての病理形態学・分子生物学・免疫学的研究
	三 好 宣 彰 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学Ⅱ	腫瘍病理学	動物の様々な腫瘍に関する組織病理学的研究
	寸 田 祐 嗣 (鳥取大学)	病態・予防 獣医学Ⅱ	獣医病理学	各種動物疾患及び人獣共通感染症の制圧に関する病理学的研究
	伊 藤 壽 啓 (鳥取大学)	病態・予防 獣医学Ⅲ	人 獣 共 通 感染病学	人獣共通感染症病原体の生態、遺伝子進化、宿主域制限因子及び病原性決定因子の究明並びにその予防・制圧に関する研究
	岩 田 祐 之 (山口大学)	病態・予防 獣医学Ⅲ	免 疫 病 態 生 理 学	動物疾病の診断・予防のための免疫病態学的評価に関する分子生物学的および免疫学的研究
	度 会 雅 久 (山口大学)	病態・予防 獣医学Ⅲ	病原細菌学	病原細菌の感染機構および感染制御に関する研究
	山 口 剛 士 (鳥取大学)	病態・予防 獣医学Ⅲ	鳥類感染症学	家禽および野生鳥類における感染症の病態と制御に関する研究
小 尾 岳 士 (鹿児島大学)	病態・予防 獣医学Ⅲ	感 染 性 微生物学	家畜伴侶動物の感染症に関わる微生物の感染経路や病原性の研究	

連合 講座	主指導教員氏名 (所属大学)	専門科目	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
臨 床 獣 医 学	日 笠 喜 朗 (鳥取大学)	臨床獣医学 I	内 科 診 断 治 療 学	動物の内科的疾患の病態生理生化学並びに診 断と治療法に関する基礎および臨床学的研究
	奥 田 優 (山口大学)	臨床獣医学 I	内科診断学	犬ならびに猫の各種疾患に対する分子生物学 的診断法・治療法に関する研究
	水 野 拓 也 (山口大学)	臨床獣医学 I	小動物応用 免 疫 学	小動物の免疫介在性および腫瘍性疾患の病態 解析および新規診断法・治療法の開発に関する 研究
	高 木 光 博 (山口大学)	臨床獣医学 I	産 業 動 物 獣 医 学	産業動物を対象として、生産性を阻害する主要 な疾患の病態解明とその予防法の開発
	大 和 修 (鹿児島大学)	臨床獣医学 I	臨床生化学	動物疾患(主に遺伝病と血液疾患)の病態生理 生化学および分子メカニズムならびに診断・治 療・予防法に関する研究
	遠 藤 泰 之 (鹿児島大学)	臨床獣医学 I	小 動 物 感 染 症 学	小動物の感染症における病態と治療に関する 研究
	矢 吹 映 (鹿児島大学)	臨床獣医学 I	臨床細胞学	動物疾患の病態と診断に関する組織学的およ び細胞学的研究
	佐 藤 宏 (山口大学)	臨床獣医学 I	寄生虫病学	公衆衛生・動物衛生に関わる寄生虫の疫学的監 視とその基礎生物学的研究
	竹 内 崇 (鳥取大学)	臨床獣医学 I	臨床検査学	中枢および末梢神経系疾患に関する基礎的およ び臨床的研究
	杉 山 晶 彦 (鳥取大学)	臨床獣医学 I	臨床毒性学	医薬品・化学物質が生体に及ぼす有害作用に関 する臨床病理学的研究
	帆 保 誠 二 (鹿児島大学)	臨床獣医学 I	内 科 学	動物の内科疾患の診断, 治療及び病態解明に関 する研究
	原 田 和 記 (鳥取大学)	臨床獣医学 I	感染症内科学	動物の感染症に対する内科的な診断及び治療 に関する研究

連合講座	主指導教員氏名 (所属大学)	専門科目	教育研究分野	
			名称	内容
臨床 獣 医 学	三浦直樹 (鹿児島大学)	臨床獣医学Ⅰ	比較病態 解析治療学	動物の疾患を分子生物学的および臨床獣医学的観点から、異種間やヒトの病態と比較解析することによる新規の診断・治療法の開発
	柳田哲矢 (山口大学)	臨床獣医学Ⅰ	進化系統 寄生虫学	寄生虫の進化・系統分類に関する研究と、寄生虫病対策への応用
	岡本芳晴 (鳥取大学)	臨床獣医学Ⅱ	臨床腫瘍学	動物の腫瘍に対する新しい治療技術の開発に関する基礎および臨床学的研究
	今川智敬 (鳥取大学)	臨床獣医学Ⅱ	画像診断学	獣医臨床における中枢および抹消神経系疾患の画像診断および治療法に関する基礎的および臨床学的研究
	田浦保穂 (山口大学)	臨床獣医学Ⅱ	臨床免疫学	獣医臨床における移植免疫・臓器保存・人工臓器・関節疾患・中枢神経疾患・免疫調整法等を含む臨床免疫学的研究
	中市統三 (山口大学)	臨床獣医学Ⅱ	腫瘍外科学	犬と猫の腫瘍性疾患の診断と外科的治療に関する研究
	三角一浩 (鹿児島大学)	臨床獣医学Ⅱ	外科診断 治療学	動物の外科疾患の病態を基礎および臨床獣医学的手法を用いて究明することによって、科学的根拠に基づく獣医外科診断・治療法の開発に役立てる
	桃井康行 (鹿児島大学)	臨床獣医学Ⅱ	分子診断 治療学	伴侶動物の疾患に対する診断法や治療法についての分子生物学的手法を用いた研究と開発
	藤木 誠 (鹿児島大学)	臨床獣医学Ⅱ	運動器診断 治療学	動物の運動器疾患の診断・治療に関する研究
	谷 健二 (山口大学)	臨床獣医学Ⅱ	低侵襲外科学	伴侶動物の外科疾患における低侵襲な診断と治療法に関する研究
	大崎智弘 (鳥取大学)	臨床獣医学Ⅱ	臨床腫瘍学	小動物腫瘍における新規診断・治療法に関する研究
	菱沼 貢 (鳥取大学)	臨床獣医学Ⅲ	家畜生殖工学	動物の生殖工学(体外受精-胚移植)に関する基礎および応用的研究
	角川博哉 (山口大学)	臨床獣医学Ⅲ	繁殖生理 管理学	大動物や小動物を内分泌学、神経内分泌学、栄養学的に調べ、繁殖管理、予防管理、動物健康管理のための新たな手法を開発する

連合 講座	主指導教員氏名 (所属大学)	専門科目	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
臨床 獣 医学	窪 田 力 (鹿児島大学)	臨床獣医学Ⅲ	獣医発生工学	獣医臨床における発生工学の開発と応用の研究
	(連携大学院) 菊 地 和 弘 (農業・食品産業技術総合研究機構)	臨床獣医学Ⅲ	生殖工学	基礎生殖生物学と関連する生殖工学技術に関する研究